

## イノベーションへの道：最新化は統合から始まる



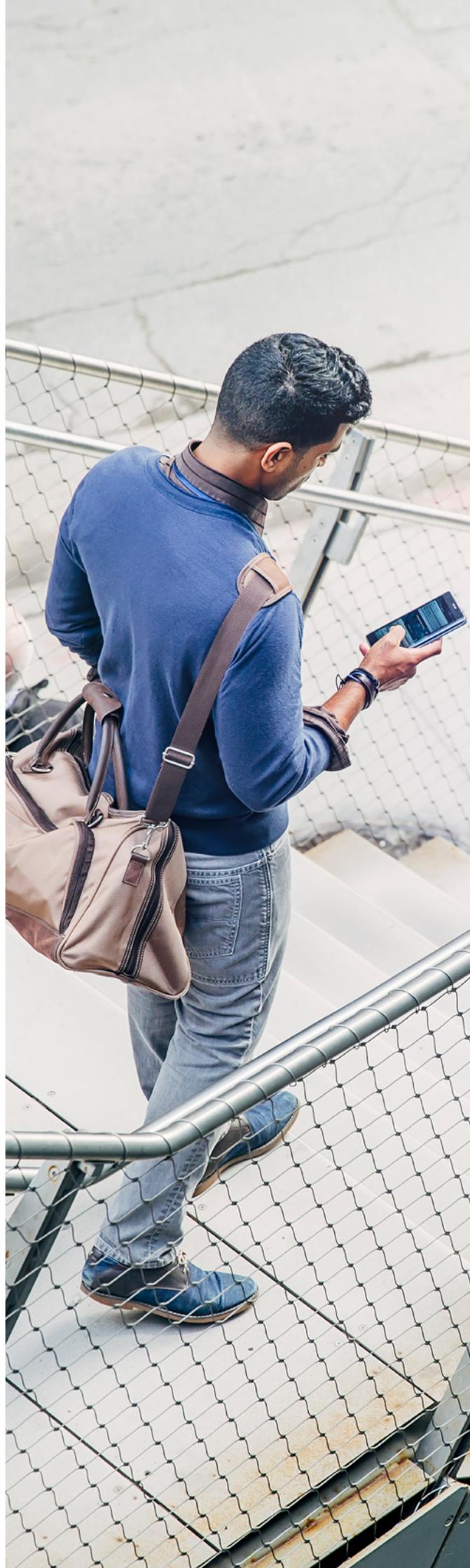
# 目次

- 3 はじめに
- 6 SAP ソリューションと最新の統合
- 9 最新化のための統合された投資から得られる大きなメリット

---

最新の統合とは、基盤となる接続を自動化するテクノロジーで、これによってビジネスメリットをすぐに享受できるだけでなく、アプリケーションの接続にかつて使用されていた技術的負債を取り除くことができます。<sup>1</sup>

1. IDC MarketScape : 「Worldwide Cloud Integration Software and Services (iPaaS) 2023 Vendor Assessment (2023 年 世界のクラウド統合ソフトウェアとサービス (iPaaS) のベンダー評価)」、doc #US50244723、2023 年 2 月。



## はじめに

今日の多くの企業は、クラウドネイティブアプリケーションのメリットである俊敏性、柔軟性、回復力などを享受するために、アプリケーションランドスケープの最新化を優先しています。最新化した際のメリットとして、総所有コストの削減と生産性の向上などがあります。これらは、最新テクノロジーを活用してビジネスニーズをより効率的に満たすことで実現します。さらに、イノベーションを推進し、ビジネスの成果と顧客エクスペリエンスを高める必要性が高まっているため、組織によるデジタルトランスフォーメーションの取り組みが進んでいます。

デジタルトランスフォーメーションに成功すると、企業は変化に対処するだけでなく、今後の状況を予測して備えられるようになります。デジタルトランスフォーメーションへの組織の取り組みで鍵となる要件は、人工知能 (AI) などの最新イノベーションを活用できるテクノロジーランドスケープのアップグレードです。

しかし、新しいテクノロジーを導入すると、ビジネス情報が広範囲に分散化されたシステムランドスケープにつながるため、リアルタイムのインサイトを得て対処することができなくなります。現在、ビジネス情報は、財務、製造、カスタマーサービスなどの部門、そしてサプライヤー、パートナー、広範なビジネスネットワークに至るまで、あらゆる場所から収集されます。このようなビジネス情報は、オンプレミスやクラウドのさまざまなシステムで取得され、保存されます。こうしたシステムの統合・管理が適切に行われていなければ、データを簡単に共有できず、社内外の可視性の欠如とエンドツーエンドのビジネスプロセスの分断につながります。システム間のデータ交換を可能にする統合プラットフォームが整備されていなければ、パートナーとの連携が困難になる可能性があります。

統合の初期のアプローチでは、ソフトウェアを使用して、あるアプリケーションを別のアプリケーションに接続していました。完全にサイロ化されたアプリケーションでの作業よりは進歩したものの、さらに複雑なITランドスケープや新しいビジネスニーズを満たすための拡張ができませんでした。また、こうしたポイントツーポイントのアプリケーション統合を構築するには、多くの時間とリソースが必要でした。これは、旧式のオンプレミス統合システムにも言えることでした。



## レガシーとクラウドの統合

技術的に制約がありランドスケープが複雑であることから、企業はエンドツーエンドのビジネスプロセスをデジタル化し、新しいビジネスチャンスとモデルを模索することができません。このような課題に対処するには、レガシーエンタープライズシステムと新しいクラウドベースアプリケーションを統合するためのソリューションが必要です。多くの企業がハイブリッド型統合アプローチを採用していますが、レガシーアプリケーションを新しいクラウドベースのテクノロジーと統合すると、以下のような大きな課題が生まれる可能性があります。

### • 制限されたアーキテクチャー

柔軟性が低いレガシーシステムアーキテクチャーでは、ほかのアプリケーションや、同じ企業内の他部門との統合が制約されるため、システムの機能の拡張が複雑になる。

### • ベンダーロックイン

たとえテクノロジーが古くなり、最新テクノロジーとの互換性がなく、ほかのコンポーネントと統合する柔軟性に欠けていても、組織はベンダーロックインにより同じテクノロジーを引き続き使用する必要がある。

### • 不十分なセキュリティ管理

レガシーシステムは、ベンダーによるサポートが終了すると、進化するセキュリティ環境に対応するためのセキュリティ更新やパッチを受け取れなくなるため、重大なセキュリティリスクにさらされる。

### • 不安定で不完全なシステム

レガシーシステムは、最新化に追いついていない企業や市場に対応するよう設計および構築されているため、効率が悪く、従業員の生産性を損なう場合がよくある。

### • 最新テクノロジーとの非互換性

通常、レガシーシステムは、複数のシステムと統合するように設計されておらず、将来を見据えたシステムと連携するための柔軟性がないスタンドアロン製品である。

### • レガシーアプリケーションの管理コスト

レガシービジネスアプリケーションのシステムアーキテクチャーは複雑である場合が多いため、ITチームの負担が増えるだけでなく、アプリケーションの可用性と機能の維持に想定外の費用が発生する。

**デジタルトランスフォーメーションに成功すると**、企業は変化に対処するだけでなく、今後の状況を予測して備えられるようになります。

## 進歩の基盤となる最新の統合

これらの課題に対処するために、組織は最新の統合プラットフォームの導入を進めています。最新の統合ソリューションはクラウドベースの iPaaS (Integration Platform as a Service) であり、統合に関する幅広い課題（企業間、アプリケーション間、政府による統合、統合作業の合理化および標準化など）を解決するよう設計されています。このプラットフォームを使うと、プロセスの自動化と、ビジネス全体や複数の組織間でのデータ共有が簡単にできるようになります。

iPaaS には、統合フローを開発および導入するためのツールが含まれており、ハードウェアやミドルウェアをインストールしたり、管理したりする必要はありません。iPaaS は、企業とそのパートナーが使用するアプリケーションとプロセス統合の作成、管理、変更を一元的に行う場所になります。優れた iPaaS には豊富なコネクタや事前構築済み統合が含まれるため、プロジェクトを迅速に開始できます。また、イベント駆動型のアーキテクチャーを備えており、ビジネスイベントデータの拡張可能なリアルタイム処理がサポートされるため、組織が効率的かつ体系的に優れたカスタマーエクスペリエンスを提供し、業務を改善するのに役立ちます。

iPaaS は、企業全体の統一を実現するだけでなく、以下のような多くのメリットももたらします。

- **かつてない速さの統合**：接続、事前構築済みコネクタ、統合、アプリケーションプログラミングインターフェース (API)、イベント、API 管理によって実現
- **唯一の正確な情報源**：アプリ、プロセス、システム間の高い通信機能によって実現
- **急速な変化への適応力**：あらゆる関連ソースから取得するリアルタイムのインサイトで「全体像」を捉えることで得られる
- **ビジネスイノベーションのサポート**：情報の連携によって促進される、新しいプロセス、サービス、エクスペリエンスなど
- **複雑なビジネスプロセスの自動化**：クラウドかオンプレミスかを問わず、企業内外のシステム間のシームレスな接続
- **セキュリティとコンプライアンスの強化**：ベンダー管理によるエンタープライズレベルのセキュリティ、データプライバシー、保護によって実現
- **効率性の向上**：どこからでもアクセス可能な一元管理システムによって実現

統合は、基盤となる接続を自動化するテクノロジーであり、これによってビジネスメリットをすぐに享受できるだけでなく、アプリケーションの接続にかつて使用されていた技術的負債を取り除くことができます。<sup>2</sup>

2. MarketScope : 「Worldwide Cloud Integration Software and Services (iPaaS) 2023 Vendor Assessment (2023 年 世界のクラウド統合ソフトウェアとサービス (iPaaS) のベンダー評価)」、doc #US50244723、2023 年 2 月。

## SAP ソリューションと最新の統合

SAP には、オンプレミスソリューションをはじめ SAP のビジネステクノロジープラットフォームサービスの中心となる iPaaS テクノロジーを含む、統合分野でのイノベーションに 30 年以上にわたって関わってきました。

SAP® Integration Suite では、IT ランドスケープの内外でソリューションを統合することができます。事前構築済みの統合フロー、数百のシステムへのコネ

クター、何千もの API、その他の統合を簡素化する機能により、SAP および SAP 以外のアプリケーションへの接続が促進されます。イベント駆動型アーキテクチャーとインテリジェントテクノロジーにより、すべての人をリアルタイムでつなぐことで、企業のビジネスプロセス全体を自動化し、効率性と可視性を確保できます（図 1 を参照）。

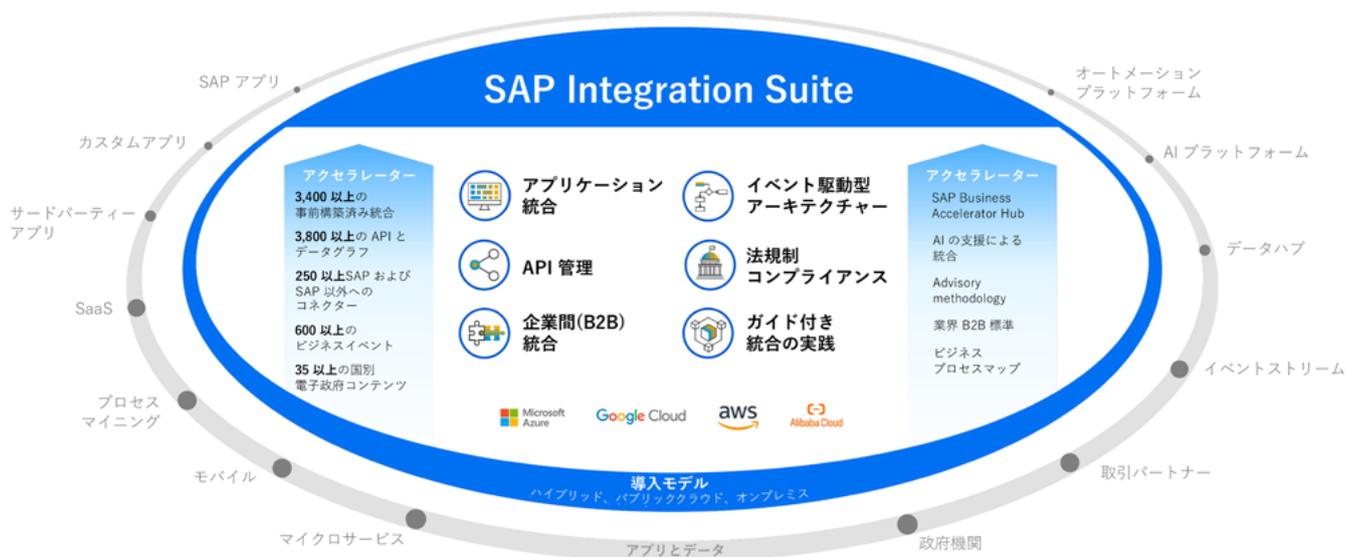


図 1: SAP Integration Suite

SAP Integration Suite は、レガシーか最新かを問わずさまざまな形式の統合パターンをサポートし、事前構築済みのコンテンツと組み込みの AI テクノロジーを使って、組織内の統合やビジネスパートナー、サプライヤー、顧客との統合に向けた新しい統合フローの構築を加速します。

SAP Integration Suite は、統合に関わる幅広い課題に対応する包括的な機能を提供するだけでなく、アプリケーションの格納場所がオンプレミス、複数のクラウド、またはハイブリッドランドスケープかに関係なく、統合への体系的なアプローチを可能にする方法論と、より迅速に成果を達成するための独自のアクセラレーターも含まれています（図 2 を参照）。

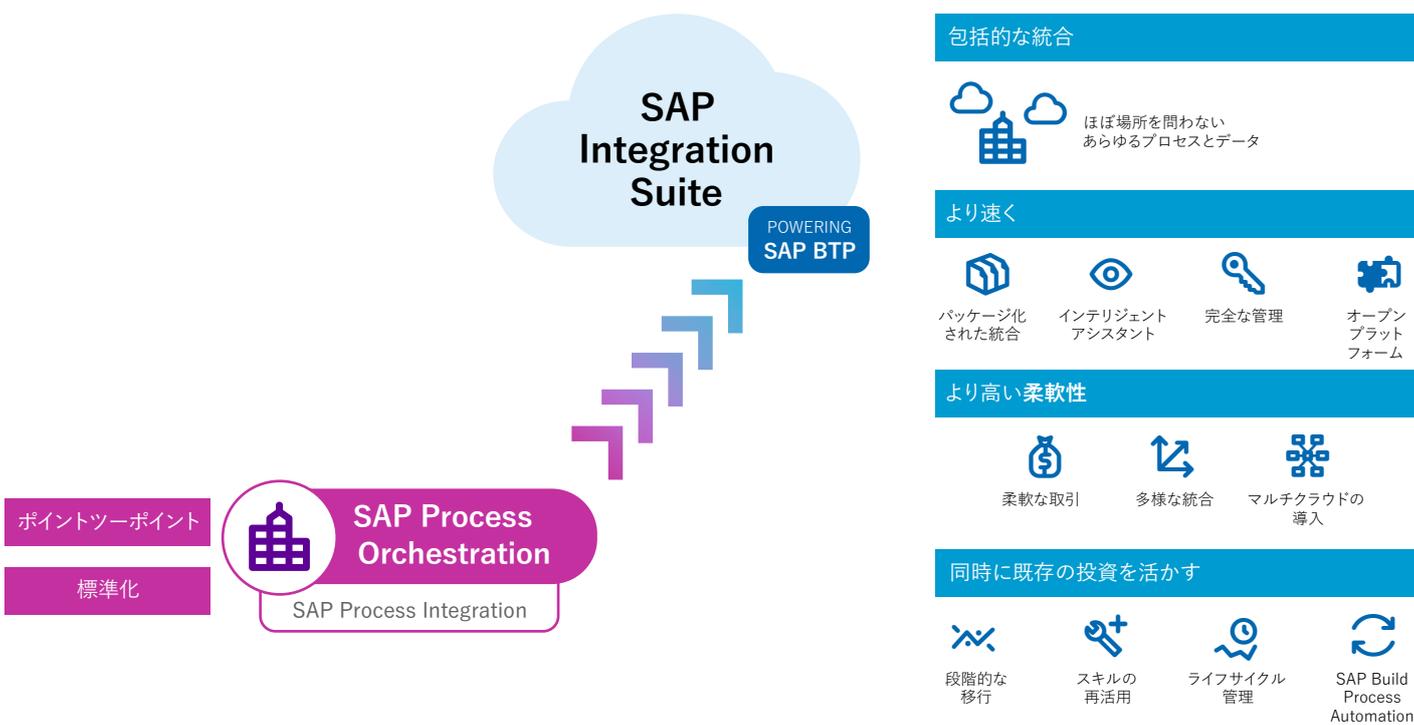


図 2: SAP Integration Suite による最新の統合ランドスケープへの移行

SAP Integration Suite を導入した組織は、以下のことを実現できます。

• **SAP とサードパーティーのソフトウェアシステムをより効率的に接続**

– SAP Integration Suite は、エンタープライズグレードの機能豊富な iPaaS (Integration Platform as a Service) で、高度な API 管理やその他の最新の統合テクノロジーを活用して、アプリケーション間、企業間、企業と政府機関の間での統合をサポートする。

• **接続を初日からスピーディーに行う**

– SAP Integration Suite には、事前にパッケージ化された統合とコネクタ、利用可能なビジネスイベントと API、AI ベースのアドバイザー、すぐに検出できるデータセマンティックが用意されているため、統合プロジェクトを迅速に開始できる。

• **リアルタイムのビジネスインタラクションを実現**

– SAP Integration Suite では、API ベースのイベント駆動型アーキテクチャーにより、ビジネスイベントとリアルタイムのビジネスデータを、企業内外で公開および処理できる。

• **ハイブリッドランドスケープとマルチクラウドランドスケープを柔軟に統合**

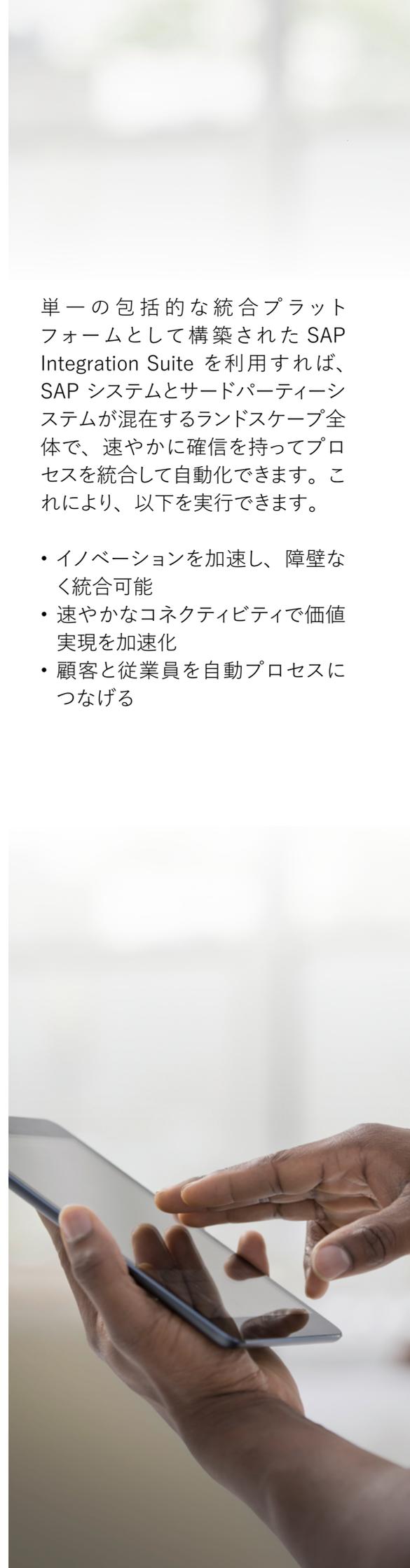
– SAP Integration Suite を使うと、オンプレミスとクラウドのアプリケーションを統合できる。SAP Integration Suite は、主要なパブリッククラウドインフラストラクチャー上で実行できるほか、オンプレミスランドスケープやプライベートクラウド環境に柔軟に実装できる。

• **確信を持って最新化**

– SAP Integration Suite は簡単に導入できる。SAP とパートナーが提供する実証済みの方法論、インサイトに満ちたアセット、ツール、サービスを活用して、レガシーソリューションからの移行をシンプル化できる。そして導入によって、クラウドでの統合のメリットを享受できる。

単一の包括的な統合プラットフォームとして構築された SAP Integration Suite を利用すれば、SAP システムとサードパーティーシステムが混在するランドスケープ全体で、速やかに確信を持ってプロセスを統合して自動化できます。これにより、以下を実行できます。

- イノベーションを加速し、障壁なく統合可能
- 速やかなコネクティビティで価値実現を加速化
- 顧客と従業員を自動プロセスにつなげる



## 最新化のための 統合された投資から得られる 大きなメリット

最新化のための投資が連携なしで個別に実施されると、最新化のメリットを完全に享受することはできません。組織内外のクラウドアプリケーションやオンプレミスアプリケーションにまたがるビジネスプロセスおよびビジネスデータは、企業全体として変化するニーズに適応し、効率的かつ効果的に作業を遂行できるよう接続する必要があります。

イノベーションプロジェクトを成功させれば、新しいビジネスチャンスと改善されたプロセスを手に入れることができます。イノベーションプロジェクトを成功させる上でまず重要になるのは、アプリケーション間の統合レイヤーの構築です。SAP Integration Suite を使用すると、アプリケーション、データソース、プロセス、サービス、イベントを、クラウド環境およびオンプレミス環境で企業内外から接続できるようになります。これにより、イノベーションを加速し、かつてない自動化を実現できます。

### お問い合わせ

SAP Integration Suite の詳細については、[こちら](#)をご覧ください。パーソナライズされたデモについては統合エキスパートにお問い合わせいただき、セルフガイドデモについては[こちら](#)をクリックしてください。



### 適切な統合ソリューションが ビジネスを成功に導く

#### ビジネスプロセスの最適化と自動化

断片化されたビジネスプロセスを最適化および自動化することで、組織で調和のとれたエクスペリエンスを提供できる。

#### e コマースの強化

さまざまなタッチポイントにわたってカスタマーエンゲージメントを包括的に把握できる。

#### カスタマーインサイトの提供

顧客をあらゆる角度から把握し、ロイヤルティを高め、競争優位性を強化できる。

#### 将来も万全な IT ランドスケープの構築

API ファーストのアプローチにより、既存投資の価値を引き出せる。

#### 電子政府および法規制コンプライアンスへの対応を支援

文書のデジタル登録の標準化することで、規制機関のコンプライアンス要件を満たすことができる。

#### API エコノミーの実現

独自のサービスを引き出し、新しいビジネスモデルを構築して競争優位性を実現する。

#### 企業間 (B2B) パートナーをつなげる

効率的で安全かつスケーラブルな B2B プラットフォームを構築することで、取引先とつながることができる。

